

防災・安全交付金事業 事後評価

令和6年12月20日（金）

上下水道部 下水道建設課・下水道施設管理課

計画名 災害に強い伊勢のまちをつくる下水道整備（重点計画）
事業期間 平成30年度～令和4年度（5年間）
【防災・安全交付金】（国土交通省）



事業完了

事後評価

計画の名称	災害に強い伊勢のまちをつくる下水道整備（防災・安全）（重点計画）									
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度（5年間）	交付対象	伊勢市							
計画の目標	<p>当地域に想定されている大規模地震や近年の異常気象への対策を実施し、災害に強い安全で安心な都市基盤を整備する。</p>									
計画の成果目標（定量的指標）	<p>①総合地震対策計画に基づく耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策の実施により耐震性能を確保した割合を0%（H30）から35%（R04）に増加させる。</p> <p>②総合地震対策計画に基づく地震時に揚水機能が確保された雨水ポンプ場が受け持つ排水区面積割合を52%（H30）から60%（R04）に増加させる。</p> <p>③長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率を2%（H30）から100%（R02）に増加させる。</p> <p>④総合地震対策計画に基づく下水道区域内における安全及び衛生的にトイレが利用できる避難生活施設を0%（R01）から100%（R04）に増加させる。</p> <p>⑤桧尻2号雨水幹線排水路の整備により周辺の想定浸水面積を39.7ha（R02）から31.4ha（R10目標）へ減少させる。（10年確率降雨）</p> <p>⑥事業計画に基づく黒瀬ポンプ場のポンプ増設により雨水排除能力整備率を70%（R02）から100%（R05）に増加させる。</p> <p>⑦総合地震対策計画に基づく地震時に管理機能が確保された処理場を0%（H30）から100%（R02）に増加させる。</p> <p>⑧総合地震対策計画（第2期）に基づくマンホール浮上防止対策検討実施率を0%（R02当初）から100%（R02末）に増加させる。</p> <p>⑨ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新による機能確保率を0%（R02）から40%（R04）に増加させる。</p> <p>⑩ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新による機能確保率を0%（R02）から20%（R04）に増加させる。</p>									
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,217百万円 2,411百万円	A	2,198百万円 2,390百万円	B	-	C	19百万円 21百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.9% 0.9%

A：基幹事業 B：関連社会資本整備事業 C：効果促進事業

上段：実績値
下段：目標値

定量的指標の定義及び算定式(一覧)	定量的指標の現況値及び目標値		
	当初現況値	中間目標値	最終目標値
	(H30当初)	(R02末)	(R04末)
①耐震対策が必要な重要な幹線のマンホールの耐震性能を確保した割合(%) =耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策実施済み箇所数(箇所)/耐震対策が必要な重要な幹線のうちマンホール浮上防止対策を実施すべき箇所数(箇所)	0%	21%	68%
②耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積の割合(%) =耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha)/雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha)	52%	60%	60%
③長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率を2%(H30)から100%(R02)に増加させる。 =長寿命化対策を実施した施設数(資産)/長寿命化対策検討対象施設数(資産)	2%	100%	100%
④総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムの整備実施率(%) =総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムを整備した施設数(箇所)/総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムを実施すべき施設数(箇所)	0%	33%	100%
⑤10年確率降雨に対する想定浸水面積(ha)	40ha	40ha	40ha
⑥事業計画に基づく雨水排除能力の整備率(%) =整備済み能力(m ³ /s)/黒瀬ポンプ場の計画能力(m ³ /s)	70%	70%	70%
⑦総合地震対策計画に基づく処理場の耐震対策実施率(%) =総合地震対策計画に基づく耐震対策が実施された処理場(箇所)/処理場(箇所)	0%	100%	100%
⑧総合地震対策計画(第2期)に基づくマンホール浮上防止対策検討実施率(%) =マンホール浮上防止対策検討実施箇所数(箇所)/マンホール浮上防止対策検討必要箇所数(箇所)	0%	100%	100%
⑨ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新による機能確保率(%) =ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新を実施した施設数(資産)/ストックマネジメント計画対象施設数(箇所)	0%	0%	40%
⑩ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新による機能確保率(%) =ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新済延長(m)/ストックマネジメント計画に基づく実施すべき施工延長(m)	0%	0%	20%

指標①



マンホール浮上防止対策状況
(例:ハットリング工法)

マンホール浮上防止対策箇所図



- 凡例
- 令和2年度
 - 令和3年度
 - 令和4年度
 - 令和5年度
 - 令和6年度
 - 市境界

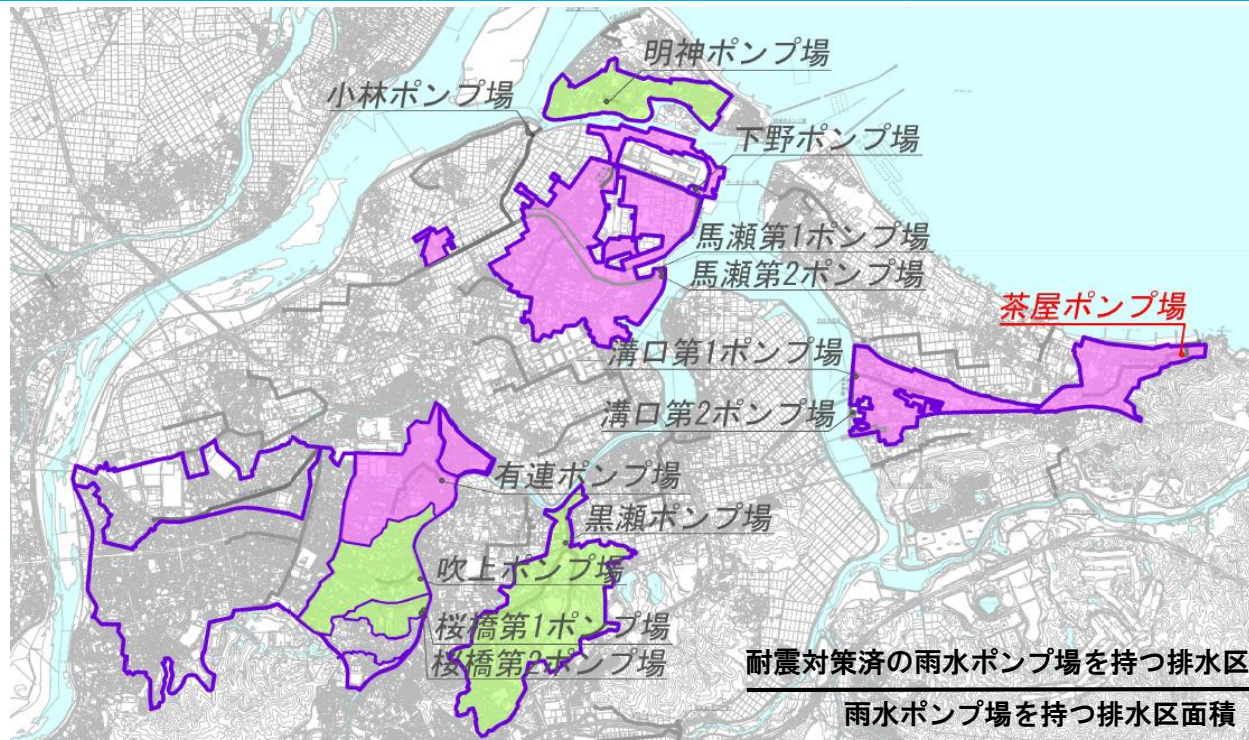
マンホール浮上防止対策実施済み箇所数 56箇所
マンホール浮上防止対策を実施すべき箇所数 82箇所
= 68%

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
マンホールの耐震性能を確保した割合(※)	0%	35%	68%	○

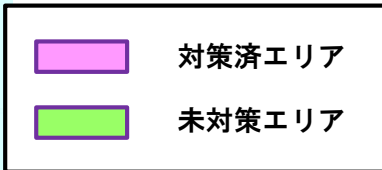
※重要な幹線のマンホールの耐震性能を確保した割合(%)

=マンホール浮上防止対策実施済み箇所数 / マンホール浮上防止対策を実施すべき箇所数

指標②



凡例



耐震対策済の雨水ポンプ場を持つ排水区面積 313.5ha
 雨水ポンプ場を持つ排水区面積 524.9 (ha) = **60%**

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積の割合(※)	52%	60%	60%	○

※耐震対策が実施された雨水ポンプ場を持つ排水区面積の割合(%)

= 耐震対策がされた雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha) / 雨水ポンプ場を持つ排水区面積(ha)

指標③



昇降機更新(吹上ポンプ場)



ゲート更新(吹上ポンプ場)

長寿命化計画に基づく 機器更新状況

長寿命化対策を実施した施設数 56資産
長寿命化対策検討対象施設数 56資産 = 100%

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機能確保率(※)	2%	100%	100%	○

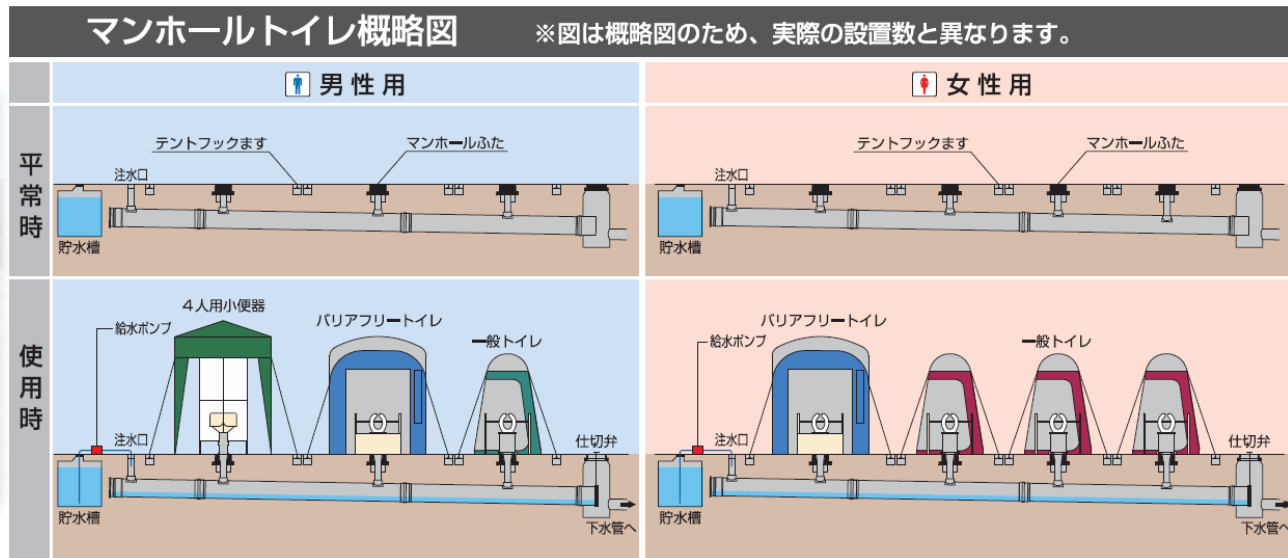
※長寿命化計画に基づく雨水ポンプ場の機器更新による機能確保率

= 長寿命化対策を実施した施設数(資産) / 長寿命化対策検討対象施設数(資産)

指標④



マンホールトイレシステム
設置状況(五十鈴中学校)



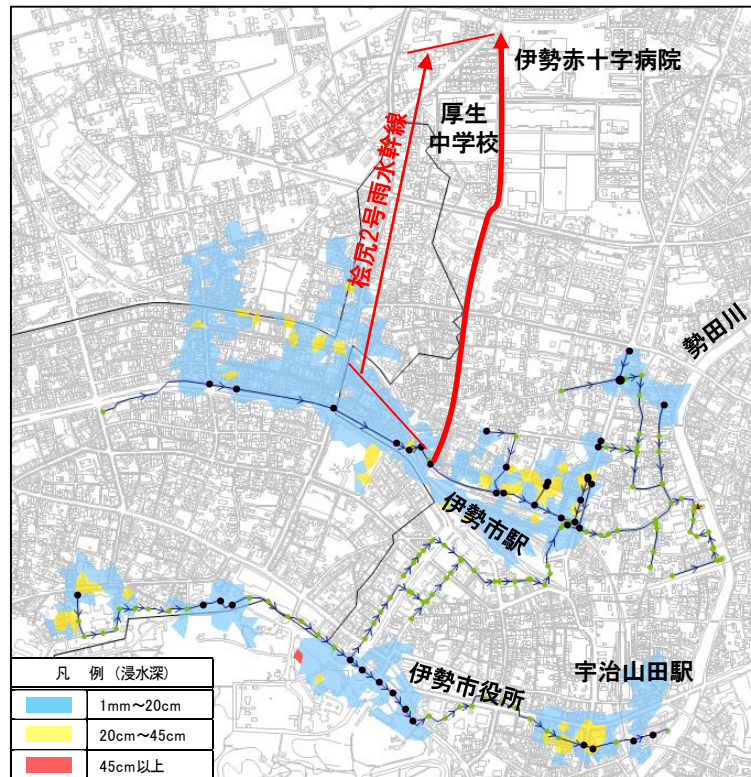
マンホールトイレシステムを整備した施設数 6施設
マンホールトイレシステムを実施すべき施設数 6施設
= 100%

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
マンホールトイレシステムの 整備実施率(※)	0%	100%	100%	○

※総合地震対策計画に基づくマンホールトイレシステムの整備実施率(%)

= マンホールトイレシステムを整備した施設数 / マンホールトイレシステムを実施すべき施設数

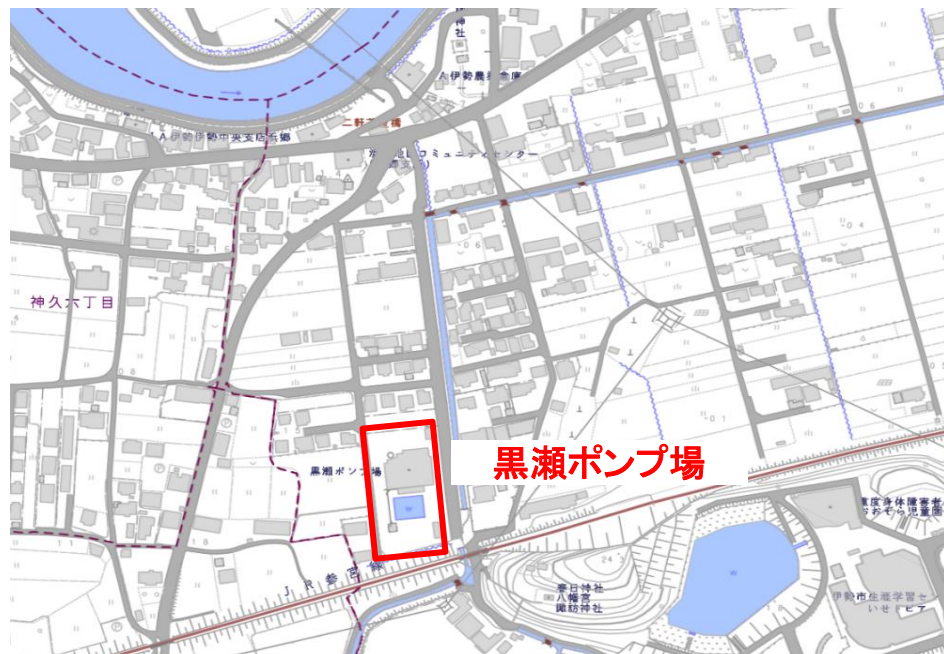
指標⑤



桧尻第2排水区桧尻2号雨水幹線排水路設計業務範囲

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
10年確率降雨に対する想定浸水面積(※)	40ha	40ha	40ha	○

指標⑥



黒瀬ポンプ場ポンプ増設状況(配管材料搬入)

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
雨水排除能力の整備率 (※)	70%	70%	70%	○

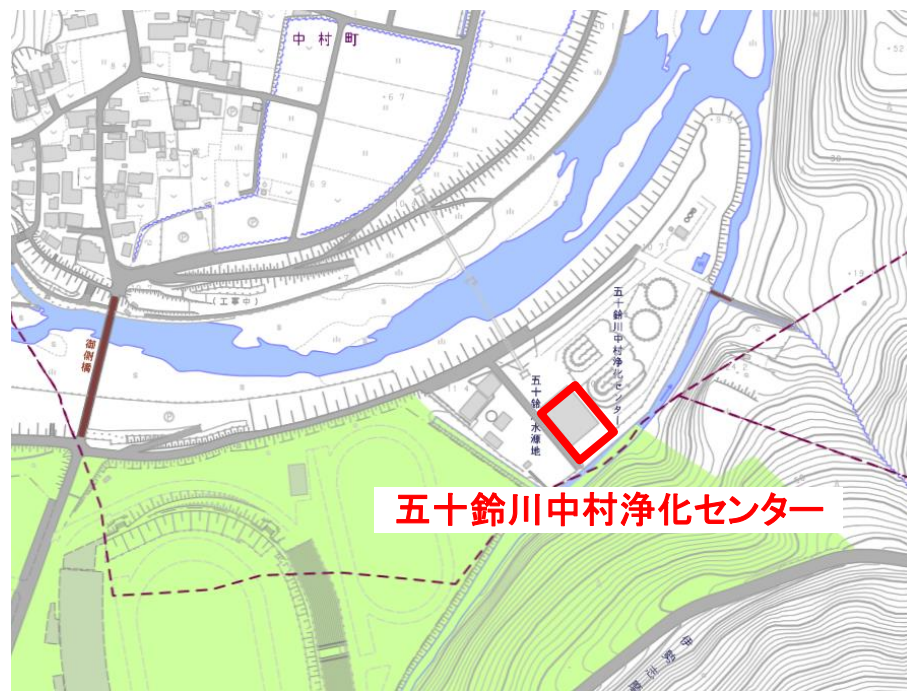
※事業計画に基づく雨水排除能力の整備率(%)

= 整備済み能力 (m³/s) / 黒瀬ポンプ場の計画能力 (m³/s)

指標⑦



**処理場耐震対策状況
(五十鈴川中村浄化センター管理棟)**



項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
処理場の耐震対策実施率 (※)	0%	100%	100%	○

※総合地震対策計画に基づく処理場の耐震対策実施率(%)

= 総合地震対策計画に基づく耐震対策が実施された処理場(箇所) / 処理場(箇所)

指標⑧

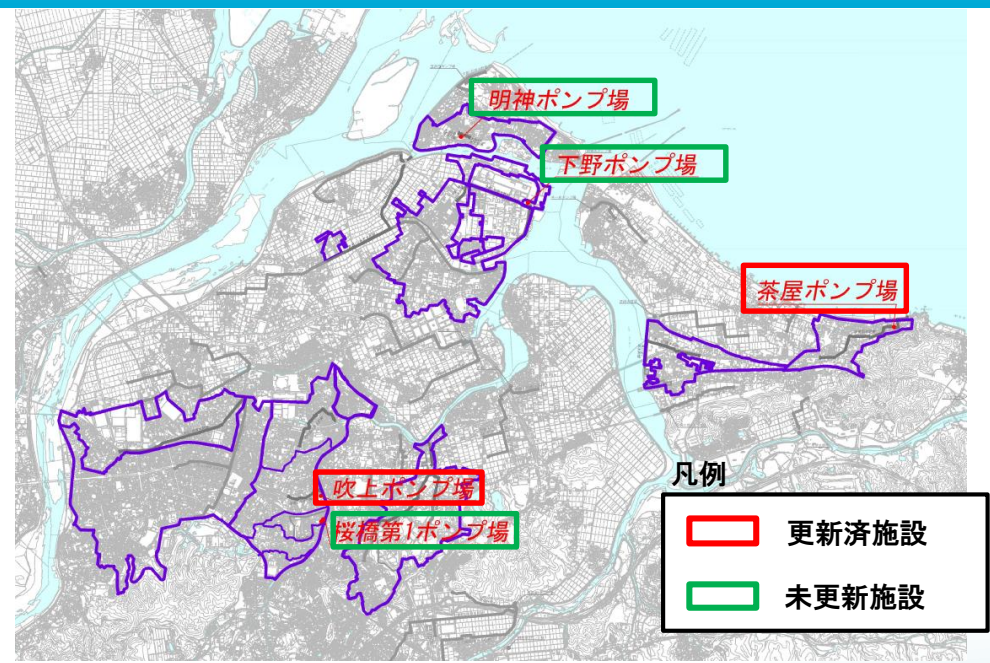
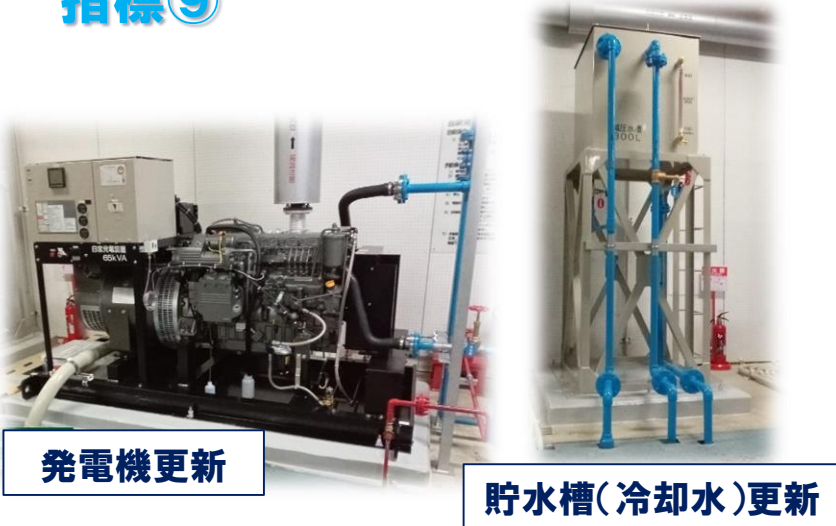


項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
マンホール浮上防止対策検討実施率(※)	0%	100%	100%	○

※総合地震対策計画(第2期)に基づくマンホール浮上防止対策検討実施率(%)

=マンホール浮上防止対策検討実施箇所数 / マンホール浮上防止対策検討必要箇所数

指標⑨



ストックマネジメント計画に基づく
機器更新状況(茶屋ポンプ場)

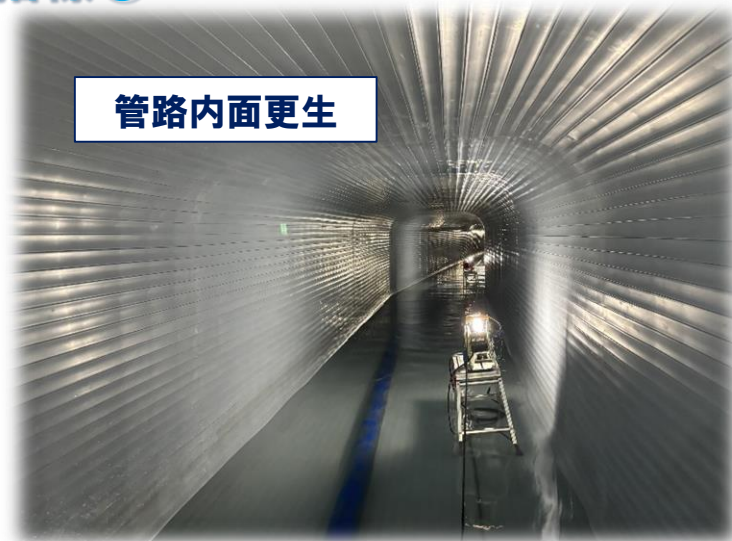
$$\frac{\text{雨水ポンプ場の機器更新を実施した施設数} \quad 2\text{施設}}{\text{ストックマネジメント計画対象施設数} \quad 5\text{箇所}} = 40\%$$

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機能確保率(※)	0%	40%	40%	○

※ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新による機能確保率(%)

=ストックマネジメント計画に基づくポンプ場の機器更新を実施した施設数 / スtockマネジメント計画対象施設数

指標⑩



管路内面更生

ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新状況



雨水管路の更新済延長 63m
 雨水管路を更新すべき延長 104m = 60%

項目指標	基準値 (H30)	目標値(最終) (R04)	実績値 (R04)	評価
ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の機能確保率 (※)	0%	20%	60%	○

※ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新による機能確保率(%)

=ストックマネジメント計画に基づく雨水管路の更新済延長 / スtockマネジメント計画に基づく実施すべき施工延長

・自己評価

整備計画に沿った下水道施設の整備・耐震化・施設更新を実施したことから、自然災害に対する安全性の向上が図れた。

目標を下回る事業は無く、全ての事業において目標以上の達成率が得られたため、本計画に基づく整備としては十分な成果が得られました。